西日本豪雨（平成 30 年 7 月豪雨）

被災事業所支援　Patch（パッチ）

報告書

しずおか福祉 BCM 研究会

福祉支援チーム　Patch（パッチ）

＜目次＞

１、発足の経緯・目的・支援内容

２、寄付金と収支

３、平成 30 年 7 月豪雨　福祉事業所の被災状況

４、支援体制、スケジュール

５、7 月の支援

岡山県倉敷市　二万小学校

６、8 月の支援

広島県三原市　特養メヌホット

７、9 月の支援

広島県三原市　特養メヌホット

岡山県倉敷市船穂　ぶどうの家船穂

８、10 月の支援

岡山県倉敷市船穂　ぶどうの家船穂

9、今回の支援と今後の課題

1、Patch（パッチ）発足の経緯

平成 30 年 7 月豪雨では沢山の福祉事業所が被災しました。東日本大震災についで多くの福祉事業所が被災しました。また状況から長期にわたって専門職による支援が必要と判断し静岡市内の福祉事業所で働く 5 名が発起人となり支援チームを結成しました。チーム名の Patch(パッチ)は、絆創膏という意味やコンピューターなどのシステムの異常を改善するプログラムとして使われることがあり、被災事業所を手当てする、うまくいかなくなった状態の改善を支援するという意味でつけました。

発起人：渡嘉敷唯之、伊藤大輔、海野直秀、川崎誠之、

目的

・被災地の福祉事業所等を支え、現地の要配慮者の長期の生活支援をすることで災害関連死防止を図る

・現地へスタッフを派遣、現地の状況等を共有することで今後起きる災害に対応できる人材を育成する。

支援内容

被災事業所の事業継続
・専門職の派遣（人員不足や職員の負担軽減などの支援）
・情報の提供（事業継続に必要な資源の提供を活用）
・効率化の提案（少ない人員で回せる環境つくり）
・物資・備品の提供やマッチング
・上記支援が受け続けられる体制の構築
被災地の要配慮者支援
・避難所の運営支援
・避難所内の要配慮者の生活支援
・在宅被災者等の生活支援
※その他、プロジェクトの目的達成に必要と認められたこと

2、寄付金

今回の活動に際して、沢山の方にご寄付を頂きました。本当にありがとうございました。

寄付総額：1,277,161 円　※2019 年 1 月末現在

〇企業、団体関係者様　※複数回の寄付金を頂いた団体も 1 つとしています。

静岡市作業所連絡会リンク様、株式会社むさし様、被災者支援情報センター様
安倍口作業所様（利用者、職員）、ＮＰＯ法人かがやき様、
（社福）あすなろ福祉会ともの家様（保護者、仲間、職員、理事、ボランティア）
NPO 法人まあぶる様（利用者、家族、スタッフ、法人理事、関係企業
ウィン作業所（募金箱）様、グローバル人財サポート浜松様（募金箱）アイ設計事務所様、
グライフ北安東、ケアステ北安東様（有志一同）、ESUNE 寄付・募金プロジェクト様
シズオカオーケストラ井上泉様 ※gd shizuoka vol.37「しずおかと、マンホール」にご参加いただいた皆様
カリタス２１　職員・利用者様、グライフ北安東　職員様、特養晃の園　職員様
9 月 1 日活動報告会参加者様　なごみ関係者の皆様
1 月 27 日しずおか福祉 BCM 研究会報告会参加者
社会福祉法人亀鶴会特別養護老人ホーム神明園様

〇個人様

石巻視察ツアー報告会参加者様　池田富士夫様、被災地のプロから学ぶ研修・第 1 回報告会、
海野直秀様、長倉浩之様、渡嘉敷唯安様

〇物資の支援

シャワーチェア　2 台　有限会社エヌ・アール 介護ショップ猫の手様
お風呂場マット、足台、ツッパリ棒、いす　他　　静岡市作業所連絡会リンク様
衣類　　当団体参加事業所等

収支　※2019 年 1 月末現在

収入		支出	
寄付金	1,277,161	7 月支援	81,846
		8 月支援	504,293
		9 月支援	596,754
		10 月支援	92,110
		合　　計	2,158

支出

日付	摘要	摘要	金額
7月13日	交通費	レンタカー代（13～16日）	17989
7月13日	雑貨費	支援物資（入浴関係等）	2808
	雑貨費	支援物資（入浴関係等）	432
	雑貨費	支援物資（入浴関係等）	6114
	雑貨費	支援物資（その他）	1728
7月14日	宿泊費	宿泊代　3名×2泊	17700
7月14日	交通費	ガソリン代	3845
	雑貨費	支援物資（LED照明等）	23506
	交通費	コインパーキング	1000
7月15日	交通費	コインパーキング	1000
	雑貨費	支援物資（事務用品等）	5724
		合計	81846

日付	摘要	内容	金額
8月1日	雑貨費	リストバンド代	11,556
8月3日	雑貨費	文房具	864
	雑貨費	日用品	1,731
	宿泊費	ウィークリーマンション代	136960
	手数料	振り込み手数料	432
8月4日	雑貨費		320
	車両	レンタカー代（8／4～8）	44496
	車両	レンタカー代（8／7～10）	34020
	車両	レンタカー代（8／11～14）	36612
	車両	レンタカー代（8／14～15）	30499
	燃料	ガソリン代	3010
	雑貨費	日用品（宿泊施設掃除道具等）	3018
	雑費	コピー	10
8月6日	雑貨費	日用品（宿泊施設掃除道具等）	1944
		日用品（宿泊施設掃除道具等）	108
	備品	パン作り用品	1188
	雑費	プリンターインク（黄色）	1089
	車両	レンタカー代（8／5～10）	19440
8月7日	備品	ホワイドボード　他	2033
	燃料費	ガソリン代	4851
	駐車料金		400
8月8日	燃料費	ガソリン代	4240
		ガソリン代	5070
	駐車場		300
		洗濯洗剤　飲料水	352
8月9日	燃料費	ガソリン代	2337
	車両	レンタカー延長料金	10476
	駐車場		300
8月10日	交通費	高速代（三原久井～玉島）	1890
	燃料費	ガソリン代	4710
	燃料費	ガソリン代	2348
8月12日	燃料費	ガソリン代	4635
	交通費	高速代（三原久井～尾道）	500
8月13日	交通費	Wさん建て替え振り込み	9880
	雑貨費	プリンター用紙	321
8月14日	燃料費	ガソリン代	1770
	燃料費	ガソリン代	4009
	交通費	タクシー代	1450
	燃料費	ガソリン代	4172
	交通費	高速（福山西ー玉島）	1400
	交通費	高速（玉島ー福山西）	1400
	駐車料金	三原駅前パーキング	200
8月16日	雑費	写真プリント代	1080
8月17日	雑費	紙コップ	602
	雑費	500ml　ペットボトル	2021
	交通費	高速（福山西ー玉島）	1400
	燃料費	ガソリン代	3655
	交通費	高速（玉島―静岡）	11400
	燃料費	ガソリン代	3872
	車両	レンタカー（8月12～17）	51462
8月18日	燃料費	ガソリン代	3839
	車両	レンタカー延長費、車種変更日	28621
		合計	504,293

日付	摘要	内容	金額
8/28	交通費	片道2人　往復5人	163,680
	振り込み手数料	交通費	100
8/30	宿泊費	ウイークリーマンション	124,440
	振り込み手数料	宿泊費	432
		3人分	104,230
9/1	修理費用	提供車両フィルター交換	4,000
	雑貨費	提供車両消臭剤	1,230
9/2	交通費	スさん新幹線代帰り	11,660
	交通費	スさん交通費帰り　在来線	370
9/3	燃料費	ガソリン代	2,724
9/4	交通費	立替分	35,390
	振り込み手数料		100
	雑貨費	まきび荘提供品代（ケトル）	4,838
9/5	燃料費	ガソリン代	3,430
	交通費	タクシー代	3,060
9/8	駐車場代	コインパーキング	400
	交通費	トさん交通費	13,730
9/9	交通費	チさん新幹線代行き	13,830
	交通費	チさん行き	200
	交通費	高速料金	1,270
	雑貨費	コピー用紙代	600
	雑貨費	ぶどうの家真備　提供品（調理道具	1,836
	雑貨費	まきび壮提供品（調理器具等）	2,484
9/10	駐車場代	コインパーキング	1,400
	交通費	高速料金	1,270
9/11	交通費	高速料金	1,470
9/12	交通費	チさん新幹線代帰り	13,830
	交通費	チさんバス	360
	駐車場代	コインパーキング	450
	駐車場代	コインパーキング	1,400
	駐車場代	コインパーキング	1,400
	燃料費	ガソリン代	3,000
	交通費	高速料金	1,470
9/14	燃料費	ガソリン代	1,813
	燃料費	ガソリン代	3,000
	レンタカー代	レンタカー代	68,688
	送料	拠点備品送料	1,369
9/18	交通費	タクシー代（両備ホールディングス）	1,700
	振り込み手数料		100
		合計	596,754

日付	摘要	内容	金額
10/7	交通費	東京組	4,290
	宿泊費	三原組	7,040
10/11	交通費	静岡-倉敷　片道14560	29,120
10/12	交通費	岡山ー静岡　高速料金	13,480
10/15	雑貨費	二万小学校提供　様式トイレ	9,396
10/26	交通費	静岡ー倉敷	13,300
	交通費	岡山⇔倉敷　@320×２	640
	交通費	倉敷⇔西阿知　@190×4	760
10/26	宿泊費	復興割（10000-9216）	784
10/28	交通費	静岡ー倉敷	13,300
		合計	92,110

[文書の重要な部分を引用して読者の注意を引いたり、このスペースを使って注目ポイントを強調したりしましょう。このテキスト ボックスは、ドラッグしてページ上の好きな場所に配置できます。]

3、平成 30 年 7 月豪雨　被災状況　　厚労省　平成 30 年 7 月 20 日

	高齢者施設等				
	施設種別	被害施設数	避難中の施設数	避難者数	避難先
岐阜県	老健等	2	1	28	病院 16 人自宅 12 人
滋賀県	特養等	2	0	0	0
京都府	特養等	10	0	0	0
大阪府	特養等	4	0	0	0
兵庫県	特養等	10	0	0	0
岡山県	特養等	69	12	316	他の社会福祉施設　193 人 病院 90 人　自宅等 33 人
島根県	認知症GH等	1	1	8	他の社会福祉施設 2 人　病院 6 人
広島県	老健等	47	9	86	他の社会福祉施設80人　病院 6 人
愛媛県	特養等	38	5	86	他の社会福祉施設59人　自宅1人
山口県	特養等	1	1	99	他の社会福祉施設 99 人
福岡県	有料老人ホーム等	41	2	36	他の社会福祉施設　31 人 病院4人　自宅1人
長崎県	経費老人ホーム等	2	0	0	0
沖縄県	特養等	10	0	0	0

	障害者福祉施設等				
	施設種別	被害施設数	避難中の施設数	避難者数	避難先
京都府	生活介護等	2	0	0	0
大阪府	放課後等デイサービス	1	0	0	0
兵庫県	生活介護	1	0	0	0
岡山県	障害者施設等	29	2	26	他の社会福祉施設16人
広島県	障害者支援施設等	29	2	26	他の社会福祉施設 26 人
愛媛県	障害者支援施設等	10	0	0	0
福岡県	障害者支援施設等	4	0	0	0

	児童関係施設				
	施設種別	被害施設数	避難中の施設等	避難者数	避難先
京都府	児童福祉施設等	3			
大阪府	保育所等	11			
岡山県	保育所等	25			
広島県	保育所等	26			
愛媛県	保育所等	10			
山口県	保育所等	1			

4、支援体制

patch

◆運営委員◆

全体コーディネーター（全体の統括）
静岡拠点リーダー（静岡拠点の統括、現地との連絡調整等）
ロジスティクス 担当（現地までの交通、車両の確保、宿泊の手配等）
事業継,続（BC）担当（事業継続に活用できる情報収集と提供等）
寄付、広報、会計　担当

◆派遣メンバー◆

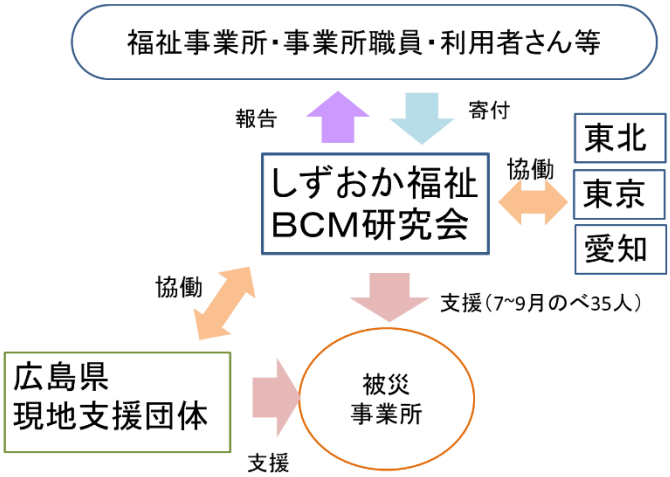
現地の被災事業所のサポート
≪静岡県外からの合流≫
・NPO 法人高齢者住まいる研究会
・特別養護老人ホーム神明園　　他

◆サポーター◆

寄付集め、広報、衣類など支援物資の収集

◆外部サポーター◆

川内潤さん（NPO 法人となりの介護）
橋本大吾さん（一般社団法人りぷらす）



スケジュール

月日	支援先	派遣人数（のべ人数）	支援内容
7 月 14 日 ～16 日	岡山県倉敷市真備 二万小学校	6 人	避難所の環境整備（シャワー室等） 物資支援（入浴関係等）
8 月 5 日 ～17 日	広島県三原市 特別養護老人ホームメヌホット	日勤 18 人 夜勤　9 人	介護業務、介護周辺業務　他
9 月 3 日 ～14 日	岡山県倉敷市船穂 ぶどうの家船穂	日勤 18 人 宿直 10 人	介護業務、介護周辺業務　他
9 月 6 日 ～14 日	広島県三原市 特別養護老人ホームメヌホット	夜勤 7 人	介護業務、介護周辺業務　他
10 月 21 日 ～23 日	岡山県倉敷市船穂 ぶどうの家船穂	宿直 3 人	介護業務、介護周辺業務 宿直業務　　他
10 月 26 日 ～28 日	岡山県倉敷市船穂 ぶどうの家船穂	宿直 2 人	介護業務、介護周辺業務 宿直業務　　他

５、７月の支援

7 月 14 日～16 日　岡山県倉敷市真備町

【当初の状況】　7 月の支援は二万小学校の避難所運営支援をしているピースボートさんの元で支援

倉敷市には現在約 20 箇所の避難所が開設。約 2600 名の方が避難生活を送っている。※倉敷市ＨＰより二万小学校は 14 日 18 時現在で 184 名の方が生活。体育館、校舎にはエアコンが整備されているが、ペットのことなど色々な事情で外で過ごされている方もいた。シャワーは岩手県や東京都の企業さんが提供する簡易シャワーがあるものの利用できる方の制限もあり十分とは言えない状況。

初日はプールに隣接する仮設シャワーの環境整備のお手伝い。高齢者の方が少なからずいらっしゃるということで、事前に集めた物品や福祉用具を使えるように配置して、目隠しや、荷物置きなど動線を踏まえた配置を実施。被災地では必要な物品が不足していることもあり、活動支援金を使って購入したり静岡市の事業所さんからの提供して頂いた物資も使いながら支援。まだ不十分で課題もありますがとりあえず汗を洗い流す環境ができた。

2 日目午前中は、地域の町づくり協議会の方と洗濯物干しのテント設営と照明設営。午後は昨日環境整備したプールの段差解消と照明設営。その後、女性用シャワー室の環境整備と照明設営。夕方は、18 日に実施する避難所の大規模環境改善にともなう住民説明会にも参加。

3 日目は数日後に実施する。ダンボールベット搬入とそれに伴う引っ越し作業の前準備。床にマットや畳を敷いて生活していると、人が歩いたあとに出るほこりなどを直接吸ってしまう危険があり、高齢者など床からの立ち上がりは難しく、その為に寝ている時間が長くなる、転倒するなどのリスクがある為、ダンボールベットの導入は必要。ダンボールベットはすでに必要数あるが、全員に使ってもらえるようにまた、このタイミングで生活環境を向上させるために体育館の中に本部や、物資置き場、更衣室、憩いのスペース（コミュニティ形成や起きている時間を確保する）などを設置できるように配置図を作成。引っ越しの際に一時荷物を置く場所の確保と区分け、18 日に効率よく作業できるようにダンボールベット作成・運搬の運用検討（シミュレーション）を実施。

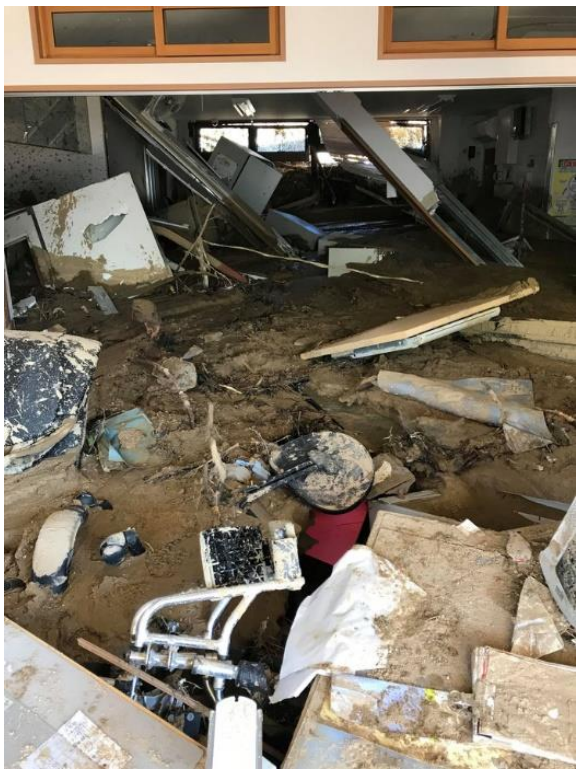
6、８月の支援

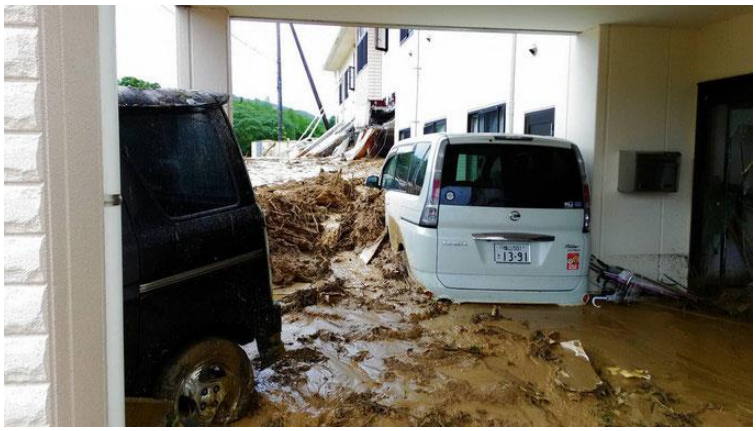
８月５日～17 日（11 日は無し）の 12 日、広島県三原市にある特養メヌホットさんを支援。
期間中に 17 名の派遣を実施（派遣のべ人数　日勤１８人　日勤　夜勤９人）

【特養メヌホットさん概要】

・広島県三原市大和（だいわ）で地域密着型の特養を運営。被災前は２ユニット 18 名の方が１階のフロアに入居していた。

・当日、大雨がふり、施設の前の川が氾濫、施設まで浸水してきた為、２階に避難し１夜を過ごす。翌日の朝に、裏の山が土砂崩れを起こし、１階部分に土砂が流入。車も使えなくなってしまったが、社協さんの車を借りて廃校になった小学校に避難。小学校では対応が難しいと判断し、隣の世羅町にある別法人の小規模多機能型居宅介護とサービス付き高齢者住宅へ分かれて避難。被災初日より施設を間借りして生活。土砂で埋もれた為、衣類や情報などは全くなく、ベッドなども運び出せず厳しい状況から避難生活がスタート。居室も１部屋を２人で利用することや、避難拠点が２ヶ所になった為、夜勤が２倍必要になった状況などあり、職員の疲弊も強い状態で今回の支援が繋がった。





【支援内容】

日勤

・排せつ介助、食事介助、入浴介助、食事準備、洗濯物干し、掃除、レク等（パン作り、カラオケ、お話、買い物など）その他（職員のマッサージ、利用者家族との記念撮影）

夜勤

・フロア見回り補助、起床介助、食事準備　等

地域の支援者へのつなぎ

広島県三原市に在住の理学療法士が代表を務め、避難所支援などを実施している任意団体「よりそい」さんへのお繋ぎし、下記を実施

・利用者さんの姿勢保持道具の作成　・ハープ奏者による慰問

物資の支援

・利用者さんの衣類（夏、秋、冬物）

事業継続への支援

・補助金や過去の事例の一部など情報提供

▼地元のボランティア団体「よりそい」さんからの支援。現場にあるものを活用して利用者さんの姿勢を保持の用具の代用品の作成や、慰問の調整など支援を実施して頂きました。

【今回の支援方法】

期間を 4 つに分けて 1 チーム 4 名程度のチームを作り支援。施設の被災により利用者さんの情報等が無く引き継げる資料が全くない事や、細かい状況が分からなかった為、初回のチームは関係づくりと利用者さんの状態とケアスケジュール（24 時間シート）、施設の活用（見取り図）作成など情報収集に力を入れてその後の支援の質を上げるようにした。また、初日に知った「衣服が無い」などの課題も当日中に共有し次のチームに衣服を持ってきてもらうようにするなどニーズに合わせて対応。

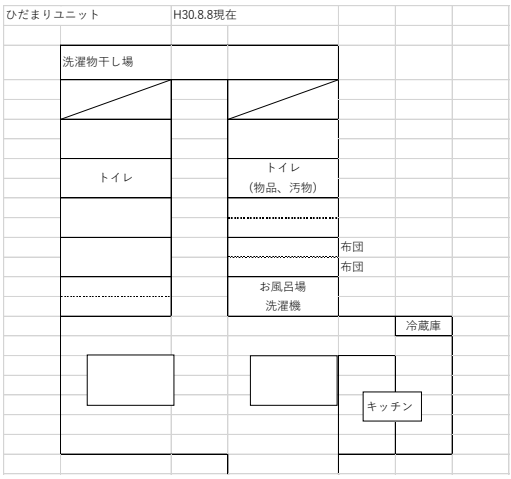
現場の支援に加えて事業継続に対しての情報提供なども実施。また、広島への支援は距離もあり長期的支援が難しい状況もあった為、現地の支援団体とのつなぎも実施。三原市在住の理学療法士が立ち上げたボランティア団体「よりそい」さんと施設を繋ぎ、「よりそい」さんからも特に専門性を活かしたサポートを実施してもらう体制を作った。（よりそいさんは patch が支援に入らない間も定期的に支援を継続）

表）メンバーのシフト表

△は移動日の為　午前のみか午後のみ　11日　運＝運転　夜＝夜勤（22~7）　準夜＝状

メンバー	5日	6日	7日	8日	9日	10日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
a	運	準夜	○	ー	○	運	運	○	夜	○	○	運
B	△	夜	夜	明け								
C	△	○	○	帰								
D	三原	○	○	三原								
E				運	○	△						
F				夜	夜	明け						
G				帰	○	△						
H					○							
I							運	○	運			
J							夜	夜	明け			
K							名	○	名			
L							△	○	△			
M									運	夜	明け	帰
N									夜	明け	夜	明け
O									入	○	○	△
P									入	○	○	帰

表）見取り図



表）24 時間シートの一部

ファミール世羅 生活一覧表①小規模

意思疎通	可能 会話が成立する	声を掛けると返事をする。 ありがとうも言う。 会話は難しい。	難聴(大きい声なら聞こえる) 会話困難 昼夜逆転	発語不可 声掛けに時々反応 視線は追う
歩行	車椅子自走 長時間座位保持可能	車椅子介助 立位は何とか可能 (10秒は大変)	チルト式車椅子 前屈あり	車椅子 左横屈 仙骨部に5センチ大の褥瘡 少量の出血があり全く乾燥いていない
食事	常食 ご飯 自立	常食 ご飯小盛 全介助 ※被災前は自力摂取	ミキサー 粥 自力→介助 本人のペースなら喝せない	ミキサー 粥 全介助 トロミ(ポタージュ状) 喝せあり、姿勢確認必要
排泄	紙パンツ+パッド 上げ下げ、パッド交換 定時誘導	紙パンツ+パッド 上げ下げ、パッド交換 定時誘導	紙オムツ+パッド ベッド上でパッド交換	紙オムツ+パッド ベッド上でパッド交換 褥創に軟膏塗布
その他	かつら。	最近、眠気が強く、ケアの間もウトウトしている。右に傾く、歌が上手でよく動揺歌う。	シャワー浴(木) 視力は良い。	シャワー浴(木)左前胸に皮むけ 頭がのけぞってしまう。全介助。車いす。 食事の時のみ、義歯装着
9:00	トイレ	トイレ		
9:30				
10:00	水分補給	水分補給	水分補給 排泄(ベッド)	水分補給 排泄(ベッド)
10:30				
11:00	トイレ	トイレ		
11:30				
12:00	昼食	昼食		臥床 昼食
12:30				口腔ケア
13:00	口腔ケア トイレ	口腔ケア トイレ	臥床 昼食	臥床
13:30				
14:00			入浴	入浴
14:30				
15:00	水分補給	水分補給	水分補給	水分補給
15:30				
16:00	トイレ	トイレ		
17:00				
17:30				
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食

表）東日本大震災で活用された補助金の情報

震災後補助金関係

事業所	事業形態	被害状況	助成金等内容
きらら女川	就労継続B型	全壊	国からの補助金はほとんどなく民間の助成金を何件も申請し、財源をかき集める。新規の申請より、既存の被災先復興の方が助成されやすい傾向がある。 助成金を頂いた企業様は ・ヤマト福祉助成財団 ・木口福祉財団 ・みずほ福祉助成財団 ・読売光と愛の事業団 ・七十七銀行 救世軍等
石巻祥心会	グループホーム	3棟 ・1棟流失 ・2棟全壊	1棟が災害復旧費、2棟は国庫補助を活用 ※但し、国庫補助は、国予算の関係から、震災後、復旧まで約5年がかかりました。その間は、行政設置の仮設住宅です。 災害復旧費は補助率が高かったと記憶していますが、国庫補助は、たとえ災害関係でも、通常の補助率です。当然、法人持出が多くなります。 （備考） その他は、特に活用はしておりませんが、東日本の場合は、災害後に多くの失業者が出たので、その方々を採用した場合には、人件費の補助があったと記憶しています。

石巻祥心会さんは入所施設、通所施設等様々な事業所を運営しています。
グループホーム以外は確認していません。

7、９月の支援

岡山県倉敷市船穂

9 月 3 日～14 日の 11 日間。岡山県倉敷市のぶどうの家船穂を支援。

期間中 13 名の派遣を実施（派遣のべ人数　日勤１８人　宿直 10 人）

※9 月 4 日は台風の接近により宿直勤務のみ支援

【ぶどうの家船穂　概要】

・岡山県倉敷市船穂にて小規模多機能とサービス付き高齢者住宅、訪問看護などの事業を展開。

今回の災害では施設は被災していないが、職員が被災し欠勤者が出ている状態。また系列のぶどうの家真備は被災しほぼ全壊となり、真備の利用者さんを受け入れている。被災前に船穂の事業所の業務負担が大きい為、利用者さんを減らすことも検討していたが、被災により逆に利用者が増え、また平均介護度も高くなってしまったことで職員さんの負担は大きくなった。また、様々な状況により宿直勤務の偏りがあり、２～3 人の職員が月 10 日前後の宿直をするなど偏りがあり職員が疲弊している状況だった。

支援内容

日勤）排せつ介助、食事介助、入浴介助、食事準備、チラシ配布、見守り、理学療法士から専門的アドバイス　等

宿直）フロア見回り補助、起床介助、食事準備　等

物資の支援）利用者さんの衣類（秋物）

事業継続への支援）ぶどうの家真備へ軽車両の提供（株式会社エイアイエム提供）

その他）真備にて福祉的避難所になっているまきび荘さんに物資支援（電気ポットや調理の道具など）

９月の支援スケジュール

メヌホット　ぶどうの家船

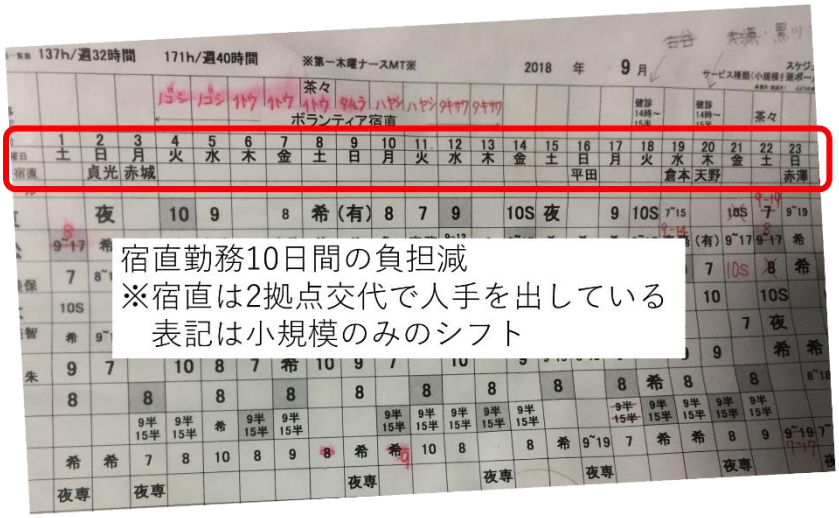
メ夜＝メヌホット夜勤（22時～8時）宿直＝ぶどうの家17時半～7時（０～6時は仮眠）

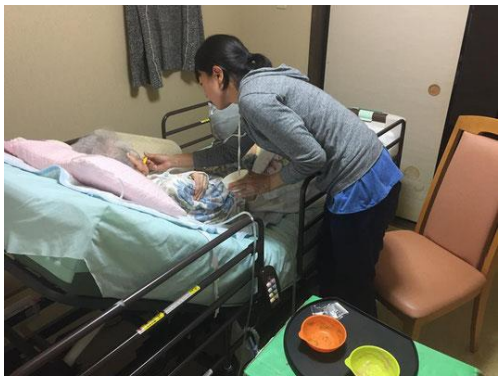
	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
A				メ夜	明け	メ夜	帰						
B										メ夜	明け	メ夜	帰
C										午後	メ夜	明け	
D	午後	他	北海	北海	別府	別府	メ夜	明け	メ夜	他	他	他	
E	午後	中止	日	日									
F	午後	宿直	宿直	明け									
G	午後	中止	日	日									
H				宿直	宿直	宿直	帰						
I				午後	日	日	日						
J				午後	日	日							
K						午後	宿直	帰					
L						夜入	日	日					
M							午後	宿直	宿直	帰			
N							午後	日	日	日			
O										宿直	宿直	明け	
P										午後	日	日	
Q										午後	日	日	

日勤の支援内容

	9月4日	5日	6日	7日	8日	9日
朝食介助	台風の為日勤中止	○	○	○	○	○
服薬介助						○
昼食介助		○	○	○	○	
入浴介助		○	○		○	○
トイレ介助		○		○	○	○
通所受け入れ		○				
送迎					○	
更衣介助		○				
談話・見守り		○		○	○	
洗顔・口腔		○				
おやつ			○	○	○	
水分補給					○	
広報誌配布				○		
麦茶用意				○		
歩行の付き添い				○		
洗濯もの				○		
ポジショニング						○

※ぶどうの家船穂のシフト表）宿直の支援により 10 日間　宿直勤務を減らすことができた





倉敷市真備にある福祉的避難所「まきび荘」にもポットや調理道具などの必要物資の支援を実施。
※まきび荘は老人福祉センターとして使われていたが、老朽化などにより現在は使われていなった。そこへ九州キリスト災害支援センターさんが中心となり福祉的避難所を開設、乳児～高齢者まで受け入れ支援。

広島県三原市

9 月 6 日～14 日の 7 日間、8 月に引き続き広島県三原市の特別養護老人ホームメヌホットを支援
期間中 4 名の派遣を実施（派遣のべ人数　夜勤 7 人）

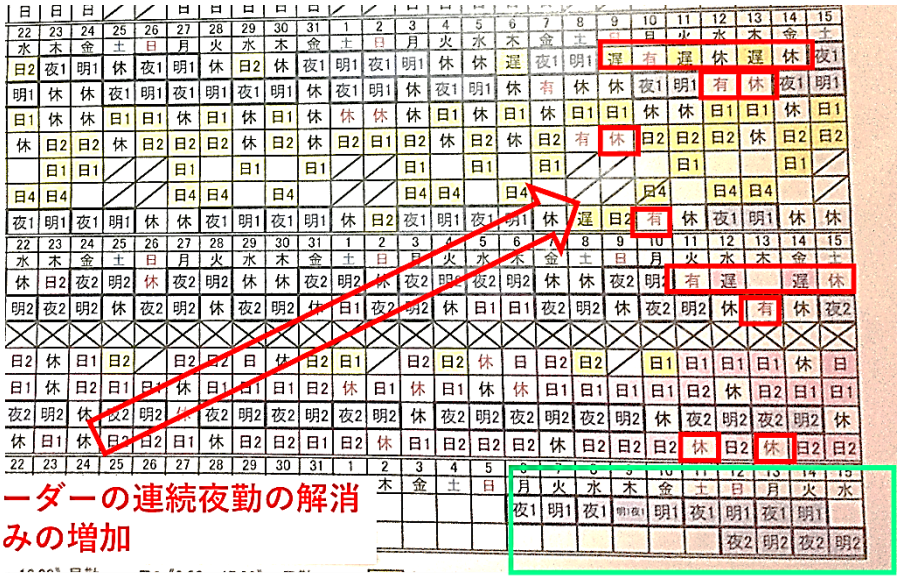
【状況等】

発災後から今まで一つの建物でケアを行っていた所が 2 箇所に分散され、それに伴いこれまで一人の夜勤体制でよかったところが 2 倍になった。また、環境が変わったなか夜勤ができるのはリーダークラスに限られることから、リーダーが日勤に殆ど入らず夜勤に付きっきりになる事で日中の質の低下や、経歴の浅い職員の精神的負担の増加などがみられた。今回の夜勤支援によりが少し緩和され、休みを取ったり日勤帯を手厚くできるなど一時的に職員の負担を継続することができた。また、8 月に現地支援団体が継続して支援に入り、リハビリやレクリエーションなどの支援を継続している事もあり、利用者さんの日中の活動の質も向上している様子。

支援内容

夜勤(1 人夜勤）フロア見回り補助、起床介助、食事準備　等

余暇活動が出来る余裕も



・リーダーの連続夜勤の解消
・休みの増加

8、10 月の支援

10 月 21 日～23 日、10 月 26 日～28 日までの日程 9 月引き続きぶどうの家船穂さんの宿直業務を支援。
前回支援から今回までの間に利用者の薬が変わったり、怪我をされたり、髪型を変えられたり、未定だった今後の事が決まったりと、ご利用者やご家族も変化がみられた。期間中リーダーの方と一緒に業務を支援しつつ、課題となっている点について、ぶどうの家さんが今後向き合う事や、それに対して当団体がお手伝いできること等について、ディスカッションを実施。また、それに伴う今後の支援のツールとして、LINE のビデオ通話の予行練習も実施

支援内容

宿直

・フロア見回り補助、起床介助、食事準備　等

9、今回の支援と今後の活動について

当初 11 月以降の支援は、事業継続に必要な人材確保や現状の困っている部分の支援を考えていましたが先方の状況により支援ができない状況となっており、ここで一区切りとなりそうです。
今回の平成 30 年 7 月の被災事業所支援は、被災した福祉事業所の数が非常に多かったことを受けて、急遽決定し即席のチームで支援をスタートしました。その為、事前準備の期間が殆どとれず、活動を進めながら体制を整える事になりました。特に被災事業所に最初に入るメンバーは情報が無い中で、また被災した事業所も受け入れの体制が取れず戸惑い混乱があった場面もありましたが、情報を繋ぎ進めていくことで信頼関係を築き、一定の成果を上げることが出来たと思います。
今回の支援を通じ被災事業所の事業継続や外部支援について沢山の課題を把握することができました。
この経験を今後起きる災害の備えにするため patch は今後も活動を継続することを決めました。
現時点で決まっている事は平成 30 年 7 月豪雨の支援をしっかりと振り返り、今後の備えについてまとめる報告書を作成します。またその備えが実際に活用されるように被災時の体制も含め様々な活動継続していくことになりました。活動内容につきましては随時ホームページ等でお知らせいたします。引き続きのご支援、ご協力よろしくお願い致します。

お礼

平成 30 年 7 月豪雨の被災事業所に支援におきましては、大変多くの方にご支援頂きました。本当にありがとうございました。特に IIHOE【人と組織と地球の為の国際研究所】代表の川北秀人さまが中心となり被災者支援情報センター様には全国に発信し多くの寄付金を頂き、背中を押して頂きました。また宮城県石巻の一般社団法人りぷらす代表橋本大吾さん、となりの介護代表の川内潤さんには過去の被災経験からのアドバイスや支援先の情報提供、支援者の紹介、交通費の補助など幅広くご支援頂きました。橋本大吾さんのご紹介では広島県でリハビリの専門職を中心に活動している任意団体「よりそい」さんにもご協力頂き、特に専門性が必要な環境整備やリハビリの支援を提供することができました。その他、愛知県の NPO 法人高齢者住まいる研究会さん、東京都の特別養護老人ホーム神明園さんにもスタッフを派遣して頂きました。本当にありがとうございました。最後に patch のメンバー、サポーターにも感謝するとともに、引き続きの活動をともに作っていきたいと思います。よろしくお願い致します。　　発起人代表　渡嘉敷 唯之